

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズランドまめの木(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 20日		～ 令和7年年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 20日		～ 令和7年年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	レクリエーションが固定化しないように、色々な活動を取り入れている。	子どもたちの発達段階や一人一人の特性に合わせて、少しずつ内容を変えて活動を行っている。	毎回同じ活動をするだけでなく、習慣化で伸びる支援なども取り入れる。
2	利用者の日々の様子を、毎日のミーティングで共有できている。	お休みの職員がいても毎日の情報を共有できるように、ミーティングの内容をノートに記録している。	土曜日や祝日などの、朝から利用児がいる時にはミーティングが出来ない場合もあるので、少しでの時間を確保したり、LINEなどを使って情報共有をする。
3	日々の連絡帳に活動の様子の写真を載せることで、保護者に分かりやすく伝えることができています。	可能な限り、毎日の連絡帳に活動の様子の写真を載せている。また、定期的にまめの木での写真を保護者に配布している。	活動の様子を、動画などを活用してより詳しく伝える方法などを検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関りの機会が少ない。	保護者会以外で、保護者同士が関わりをもてる機会を設けることができていない。	保護者会以外にも、親子レクリエーションなどの保護者参加型の企画を用意する。保護者の相談会なども検討する。
2	避難訓練が行われているか周知されていない。	避難訓練を行った日に利用していない保護者には詳しく伝えておらず、保護者全体への周知が出来ていなかった。	すべての保護者に周知ができるように、避難訓練の実施報告書を配布する。
3	就学児との一緒に過ごす時に、事故やケガなどの安全面の配慮が難しい場面がある。	できるだけ活動の場を分けて、同年代の利用児での活動を中心にしている。	職員配置を工夫し、未就学児と就学児との大きなトラブルや事故・ケガのないように見守りながら活動を行う。